

# これがオススメ! 読み聞かせ本

中・高学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。



## 3びきのかわいいオオカミ

ユー・ジーン・トリビザス／文  
ヘレン・オクセンバリー／絵  
こだまともこ／訳  
(富山房)

題名を聞いて（あれれ：何か違うぞ）と思ったところから、もう聞き手の子どもたちは、この話に釘付けです。有名な「3びきのこぶた」のパロディー風なのですから。

「ぼくたちのピンピンのひげがいやだっっていつてるもん。」  
「ところがこのぶた、わるいものなんのつてもうとんでもないわるぶただったんです。」の二つの言葉が場面ごとに繰り返され、聞いている子どもたちの心をドキドキと盛り上げていきます。そして、この悪ぶたの意地悪がだんだんエスカレートしていくと、子どもたちから「エーッ」という驚きと興奮が伝わってきます。

一体どこまでこのぶたは意地悪をするの？

ゲームに慣れている現代っ子

も「ぶたがオオカミをおそうというありえなさが楽しい」「ドリルやダイナマイトを使うぶたなんてすごい」と興奮冷めやらぬ場面があるのです。しかし、その後のフィナーレもついでいき方は考えさせられ、ホッとします。

「かごめ かごめ かこのなかのぶたは」をみんなでするところなんか、さすがの大ぶたもかわいいですよ！

挿絵も楽しいです。悪ぶたの表情、「きゅうす」をいつも持って逃げるオオカミの兄弟たち。

話の展開、言葉のリズム、挿絵、三位一体で素晴らしいこの絵本は、子どもたちの心にいつまでも残っているようでした。